

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:138単位
 専門教育科目:113単位
 全学共通科目:21単位
 広域選択:4単位
 ■必修:107単位
 ■選択:6単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	解剖学、放射線物理学、医用工学など医学・理工学系の基礎科目と社会・人文系などの教養科目を幅広く学ぶ。	臨床医学や画像技術、放射線管理に関する科目など、診療放射線科学領域の現場で実際に活用する科目が主体。	コースの特徴に沿って、より高度で実践的な科目が中心になる。3年次までに国家試験科目が全て網羅されている。	選択科目が増加するため、適性に応じた科目履修ができる。卒業研究や国家試験対策に取り組むこともできる。
コース共通科目	必修 ・応用数学A・B ・解剖学I ・環境保健医学 ・医用化学 ・放射線物理学I ・放射線機器工学概論 ・医用工学I・II ・医療画像工学I・II ・基礎科学実験 ・総合演習I 選択 ・画像処理概論	・解剖学II ・医学概論 ・放射線物理学II・III ・臨床医学概論 ・生理学 ・病理学 ・生化学 ・放射化学I・II ・放射線生物学 ・技術英語A・B ・医学英語A・B ・放射線計測学I・II ・診療画像技術学I・II ・放射線機器工学I・II ・医用工学III ・画像検査技術学基礎実習 ・医療画像工学III・IV ・放射線関係法規 ・放射線治療技術学I ・診療工学実験 ・総合演習II	・実践臨床画像学 ・総合安全管理学 ・画像解剖学 ・医療検査学 ・画像診断機器工学 ・核医学I・II ・放射線腫瘍学 ・応用機器工学 ・放射線管理学 ・放射線治療技術学II ・臨床医療人間学基礎実習 ・画像工学実験 ・放射線治療技術学実験 ・放射線管理学実験 ・核医学検査技術学実験 ・医療科学論文講読	・臨床画像学 ・救急医療学 ・核医学検査技術学実習 ・放射線治療技術学実習 ・画像検査技術学実習I・II ・総合演習III ・卒業研究 ・放射線化学特論
放射線治療・計測コース			必修 ・量子論 ・応用計測学 選択 ・臨床画像情報学 ・画像と放射線治療 ・医学特論 ・実践医療画像工学I ・画像処理言語論I・II	・放射線被曝管理論 ・線量計測工学 ・放射線治療計画演習 ・最新医療科学 ・医療と科学技術 ・実践医療画像工学II・III
臨床画像・技術コース			必修 ・医学特論 ・画像と放射線治療 ・臨床画像情報学 選択 ・画像処理言語論I・II ・量子論 ・応用計測学 ・実践医療画像工学I	・最新医療科学 ・医療と科学技術 ・放射線被曝管理論 ・実践医療画像工学II・III ・放射線治療計画演習 ・線量計測工学
画像処理・解析コース			必修 ・実践医療画像工学I ・画像処理言語論I・II 選択 ・応用計測学 ・量子論 ・医学特論 ・臨床画像情報学 ・画像と放射線治療	・実践医療画像工学II・III ・放射線被曝管理論 ・最新医療科学 ・医療と科学技術 ・放射線治療計画演習 ・線量計測工学

卒業論文テーマ・研究課題例

- DIRを用いたCT肺換気画像におけるレジストレーション誤差が換気画像に与える影響
- 胸部X線撮影における骨組織透過処理の有用性について
- PPG技術を用いた血圧推定における測定部位の最適化
- トランケーションアーチファクトとエリアシングアーチファクトのさらなる低減
- 金ナノ粒子で標識した放射線免疫療法で 使用されるルテチウムLuの蛍光X線分析
- 低周波ノイズの経時的な増減が 動画中の信号検出能に及ぼす影響
- 面積線量計指示値から患者皮膚線量への換算

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	原子物理学I	医学概論	診療画像技術学I	電子工学I	画像工学概論II
	2	応用数学A	放射化学I	応用数学B	放射線計測学I	英語IIAa
	3		計算機言語論I	電気工学II		放射線機器工学I
	4				解剖学II	放射線機器工学II
	5	生化学		生理学		放射線機器工学実験
	6					画像検査技術学基礎実習
後期	1	原子物理学II	医療統計学	病理学	診療画像技術学II	電子工学II
	2	放射線関係法規	放射化学II		放射線計測学II	英語IIAb
	3		計算機言語論II	放射線生物学		放射線機器工学II
	4					放射線機器工学II
	5	臨床医学概論				放射線機器工学実験
	6					電気電子工学実験

履修のポイント

「診療画像技術学」では先生から撮影方法や検査方法を詳しく説明していただけます。毎週小テストがあるので大変ではありましたが、国家試験の勉強をする際に、この授業があったからこそ理解度が上がったと感じられました。

学びから得たこと

全く知らなかった撮影方法や、人の体の構造などを、より詳しく理解することができました。小テストだけでなく、レポートなどの課題提出期限も考えてスケジュールを組むことで自己管理ができるようになったと思います。

Message

再現性の高い放射線技師を目指して。

専門的な知識や技術を身につけ、将来に活かしたいと思い、本学科を志望しました。印象的だった授業は「画像検査技術学基礎実習」で、CT・MRI・X線撮影装置などの様々な機器の扱い方を実践的に学ぶことができました。現在は、これまでに得た知識やスキルを卒業までにさらに確実なものにしていきたいと思い、国家試験の問題だけでなく、卒業試験に向けての勉強を行っています。将来は一人前の放射線技師となって、大学で学んだ知識を実際に自分の手で再現できるよう努めていきたいと思っています。

片岡 時輝さん

診療放射線技術科学科 4年
駒澤大学高等学校 出身

